

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) JFEロックファイバー株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通1丁目1番地の1	
本票作成	部署名：製造部 技術室				
主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業		
事業の概要	ロックウール・同製品製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社工場		岡山県倉敷市水島川崎通1丁目1番地の1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 26)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	33,400 t CO ₂	39,099 t CO ₂	32,400 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26)年度排出量
	①	本社工場	39,099 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(26) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 1.1 %	3.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量161.8[千t]	原単位当たり排出量		
		基準年度	(26) 年度	目標年度
		239.0 t CO ₂ /(千t)	241.6 t CO ₂ /(千t)	231.0 t CO ₂ /(千t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等
指標の状況				

【削減状況の自己評価】

通常、ロックウールの原料は、高炉の溶融スラグを用いている。

平成25年度から製品製造時に発生するロックウール屑の減量化として、一部、常温状態の屑を溶融原料化するリサイクルを開始した。このためエネルギー使用量 原油換算780kL/年増加、温室効果ガス排出量2,300t-CO₂/年増加し、CO₂排出量削減の目標を達成できなかった。

但し、リサイクルによる排出量増加分2,300t-CO₂/年を除くと、原単位当たり温室効果ガス排出量は227.4t-CO₂/千tとなり、目標の231.0 t-CO₂/千t以下を達成している。

【推進体制】

- ・毎月1回、社内収益改善会議にて電力原単位の計画に対する達成状況をフォロー
- ・半年毎に社内利益計画策定において電力原単位の計画を見直し

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
本社工場	<p>(平成26年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性向上のための小改造 <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気炉内の熔融スラグの管理水位を低減し、炉壁からの放散熱量を削減する

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

常温状態のロックウール屑の熔融原料化リサイクルにて、更なるリサイクル増量を平成27年度に計画しており、温室効果ガス排出量630t-CO2/年（エネルギー使用量 原油換算220kL/年）の増加を見込む。